

# 横浜市民の防災・減災の意識、取組に関する アンケート調査票

横浜市では、今後の災害対策の推進に活かすために、防災・減災の意識や取組状況に関するアンケート調査を実施しています。

このたび、あなたは市民を代表してお答えいただく本アンケート調査の対象者に選ばれました。

インターネット(推奨)または郵送のいずれかの方法により、回答のご協力をお願いします。

また、回答に要する時間は15分程度(設問:最大で37問)です。

※別冊で「用語解説」が付いています。ご参考にしてください。

## ■ インターネットで回答する場合(推奨)

下記の URL または右の二次元コードから専用サイトにアクセスし、ご回答ください。

URL: <https://bo-gensai.city.yokohama.lg.jp/>



ID : \_\_\_\_\_ パスワード : \_\_\_\_\_

【回答期限】令和6年7月3日(水)まで

## ■ 郵送で回答する場合 ※切手不要・当日消印有効

調査票にご記入のうえ、返信用封筒に入れて投函してください。

### ◆お問合せ先◆横浜市総務局防災企画課

電話: 045-671-4096 (平日 09:00~17:00)

電子メール: [so-b-gensai@city.yokohama.lg.jp](mailto:so-b-gensai@city.yokohama.lg.jp)



よくある質問集

<土日・祝日>※スマートフォン・パソコンをお持ちでない方

横浜市コールセンター(8時~21時、年中無休)

電話 045-664-2525、ファクス 045-664-2828

※問合せ内容によっては、担当部署へ転送もしくはおかけ直しをお願いすることがあります。

※この調査は、市内にお住まいの15歳以上の方々10,000人を無作為に抽出して実施しています。回答は無記名で行うため、この調査により個人が特定されることはございません。集計した調査結果については、今後、市のホームページなどで公開する予定です。

※ご回答いただいた内容は本調査の目的のみに使用いたします。個人情報の保護につきましても、本調査の事務を行う受託会社と横浜市との契約において、調査で知り得た内容を他に漏らすことがないよう保護策を講じております。

<調査主体>

横浜市総務局危機管理室危機管理部防災企画課

[〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 10階]



**(問3-1で「4」と答えた方はご回答ください)**

➤問3-2 耐震診断を受けていない、あるいは、耐震改修等を実施しない理由について、該当するものを選んでください。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1. 費用がかかるため     | 5. 耐震診断・耐震改修等を知らなかったため     |
| 2. 危険性を感じないため   | 6. 防災ベッド※を設置しているから ※別冊解説参照 |
| 3. 手続き・手配が面倒なため | 7. その他 ( )                 |
| 4. 賃貸物件であるため    |                            |

問4 あなたのご自宅では、地震によって転倒するおそれのあるタンスや食器棚等の家具類を固定（転倒防止）していますか（粘着マットも含みます）。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

1. 全ての家具を固定（転倒防止）している
2. 一部の家具を固定（転倒防止）している
3. 固定（転倒防止）していない
4. 固定（転倒防止）が必要な家具類がない

**(問4で「2」「3」と答えた方はご回答ください)**

➤問4-1 あなたが家具類の固定（転倒防止）をしていない（一部のみの固定も含む）理由について、次の中からお選びください。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

1. 方法が分からないから
2. 必要な器具をどこで購入できるか分からないから
3. 自分ではできないと思うから
4. 費用がかかるから
5. 手間がかかり、面倒だから
6. 部屋の見た目が悪くなったり、家具や壁を傷つけてしまうから
7. 賃貸住宅のため色々と制約があるから
8. 必要性を感じないから
9. その他 ( )



**(問7で「2」「3」と答えた方はご回答ください。)**

➤ 問7-2 あなたが「感震ブレーカー」を設置していなかった理由は、次のうちのどれですか。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 設置方法が分からないから     | 5. 手間がかかり、面倒だから     |
| 2. 費用がかかるから         | 6. 感震ブレーカーを知らなかったため |
| 3. 必要性を感じないから       | 7. 持ち家ではないから        |
| 4. どこで購入できるか分からないから | 8. その他 ( )          |

## 災害への備えや避難について

**■あなたのご家庭での日ごろからの災害対策についてお伺いします。**

問8 災害が起こった場合、あなたのご家庭に今ある食料、飲料水（1人1日あたりの目安は3リットル以上）でお住いの家族全員がおよそ何日過ごすことができますか。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 0日    | 4. 5日～6日 |
| 2. 1日～2日 | 5. 7日以上  |
| 3. 3日～4日 |          |

**(問8で「1」「2」を選んだ方はご回答ください)**

➤ 問8-1 横浜市では、ローリングストック法※などを活用し、ご家族全員分の食料や飲料水を3日以上、日常的に用意することを推奨しています。あなたのご家庭で、3日以上分の食料や飲料水の準備をしていない、又はできない主な理由は何ですか。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**※別冊解説参照

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 何を準備すればよいか分からないから | 6. 面倒だから             |
| 2. 保管する場所がないから       | 7. 費用がかかるから          |
| 3. 準備が必要だと知らなかったから   | 8. 大規模な災害は起こらないと思うから |
| 4. 行政が準備していると思うから    | 9. その他 ( )           |
| 5. 3日以上必要だと思わないから    |                      |

問9 能登半島地震では、長期間にわたる上下水道の途絶が生じ、災害時のトイレの重要性が問われることになりました。あなたのご家庭では、災害に備えて何日分のトイレパック（1人1日あたりの目安は5個）を準備していますか。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 1日～2日分 | 3. 4日以上    |
| 2. 3日分    | 4. 準備していない |

(問9で「4」と答えた方はご回答ください)

➤問9-1 準備していない理由は何ですか。

1つ選択して番号を○で囲んでください

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. どこで購入すればよいか分からないから | 6. 代わりとなる方法があると思うから  |
| 2. 保管する場所がないから        | 7. 面倒だから             |
| 3. 準備が必要だと知らなかったから    | 8. 費用がかかるから          |
| 4. 容易に入手できると思うから      | 9. 大規模な災害は起こらないと思うから |
| 5. 行政が準備していると思うから     | 10. その他 ( )          |

問10 あなたやあなたのご家庭では、家具の固定や水・食料の準備等以外で現在、どのような対策をしていますか。

該当するものすべて選択して番号を○で囲んでください

家庭での備え	1. ラジオ、懐中電灯などを準備している 2. 発電機、蓄電池、モバイルバッテリーなどの電源を準備している 3. いつも風呂に水をためおきしている 4. 日用品（医薬品、おむつ等）をすぐ持ち出せるように準備している 5. 感染症用品（マスクなど）をすぐに持ち出せるように準備している 6. 家族との連絡方法を決めている 7. 避難する場所を決めている 8. 避難場所への避難経路を確認している 9. 自宅周辺の危険箇所を確認している 10. いざという時に隣近所で助け合える関係をつくっている 11. 地域の防災訓練に参加している
家や家具の備え (火災対策含む)	12. 自分の家を地震に強い構造にしている 13. 自分の家を火災に強い構造にしている 14. 消火器や消火スプレーなどを備えている 15. 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けている 16. カーテンなどの日用品を燃えにくいものになっている 17. 防災ベッドを設置している
勤務先や外出先で 被災した時の備え	18. 職場等で宿泊する準備 19. 職場から自宅までの徒歩経路の確認 20. 徒歩経路にある災害時帰宅支援ステーション <sup>*</sup> の確認 21. 一時滞在施設 <sup>*</sup> 等の場所の確認 22. 防災グッズを携行する（例：帰宅支援マップ、ラジオ、絆創膏等）
	23. 特に何もしていない 24. その他 ( )

※別冊解説参照



問 12 あなたは、防災訓練や研修等をとおして、どのような内容を学んでみたいと思いますか。

**2つ選択して番号を○で囲んでください**

1. 必要な防災用品や生活備蓄について
2. 被災経験に基づいた日頃から役立つ情報について
3. 家具・家電の転倒等による被害の軽減について
4. 避難生活（持ち物や過ごし方）について
5. 身近なものを利用した災害時の対応方法について
6. 自宅の耐震診断や耐震補強について
7. 初期消火や応急救護の方法について
8. 被災後の生活再建の流れについて
9. 災害時の地域での連携の仕方について

問 13 災害が起こった時に、あなたは、ご近所の方にはどのような支援（手助け）ができると思いますか。

**該当するものすべて選択して番号を○で囲んでください**

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 「大丈夫ですか」などの声かけ  | 7. 相談相手や話し相手になる          |
| 2. 余剰備蓄品の提供        | 8. 避難の手助け・避難場所の提供        |
| 3. 災害状況や避難情報などの伝達  | 9. 介助や応急手当               |
| 4. その方の母語での支援・情報提供 | 10. 支援したいが余裕がないため出来そうにない |
| 5. 家族や親族・知人への連絡    | 11. その他                  |
| 6. 一時的な保護・預かり      | 12. わからない                |

問 14 あなたは、自然災害が起こった時に、被害を少なくするために「自助」「共助」「公助」のどれが重要だと考えていますか。

**1つ選択して番号を○で囲んでください**

1. 自助（自分の身は自分で守ること）
2. 共助（地域や身近にいる人どうしが助け合うこと）
3. 公助（国や地方自治体が行う救助・援助・支援）
4. 「自助」「共助」「公助」のバランスをとるべき

■避難場所等についてお伺いします。

問 15 あなたが自宅にいて大規模な地震が発生し、次のような状況になった場合、当面の期間、どこで避難生活をしますか。

それぞれ右のあてはまる番号を○で囲んでください

	避難所 (地域防 災拠点)	親族・友 人の家等	公園等	車の中	自宅にいる
ア. 自宅建物に被害はない (水道・ガス・電気等は <u>使える</u> )	1	2	3	4	5
イ. 自宅建物に被害はない (水道・ガス・電気等は <u>使えない</u> )	1	2	3	4	5
ウ. 自宅建物が半壊、一部破損している場合	1	2	3	4	5
エ. 自宅建物が全壊している場合	1	2	3	4	5

問 16 あなたが震災時にインターネット等の通信環境が使えない状況になったとき、行政から発信される情報をどのように入手しようと考えていますか。

該当するものすべて選択して番号を○で囲んでください

1. 避難所へ行って教えてもらう
2. 自治会・町内会の人から教えてもらう
3. 家族、友人・知人から教えてもらう
4. 最寄りの区役所に行って教えてもらう
5. ラジオやテレビなどから情報を入手する
6. その他
7. 行政からの情報は必要ない





問 22 あなたが、災害時への備えとして平常時に行政から特に発信してほしい情報は何か。  
また、大地震の発災時に行政から特に発信してほしい情報は何か。

**該当するものを平常時、災害時それぞれ2つ選択して番号を○で囲んでください。**

**1－【平常時】**

1. 必要な防災用品について（携帯ラジオ、懐中電灯等）
2. 食料・飲料水などの生活備蓄品の必要な量について
3. 家族や友人・知人との安否確認方法について
4. 家具・家電の転倒防止策について
5. 自宅の耐震診断・耐震補強について
6. 感震ブレーカーの設置について
7. 応急手当の知識や方法を学ぶ機会について
8. 近隣との災害時の協力体制について
9. 適切な初期消火や救助活動について
10. 災害時の避難場所・避難所について
11. 災害時の情報取得方法について
12. 避難所生活での必要なこと（持ち物、過ごし方）について
13. 災害後の生活支援・生活再建について
14. その他
15. 特にない

**2－【災害時】**

1. 家族や友人・知人の安否情報
2. 地震の規模や震源地、津波、余震の情報など
3. 火災の発生や建物倒壊などの被害情報
4. 災害時の情報の信ぴょう性やデマ拡散についての注意喚起
5. ライフラインの被害・復旧情報
6. 交通機関の運行情報
7. 避難が必要かどうかの指示情報
8. 避難場所・避難所の情報
9. 食料・飲料水の入手方法
10. 病院等、治療を受けられる場所の情報
11. 避難生活における健康維持方法
12. 災害後の生活支援・生活再建について
13. その他
14. 特にない

## 横浜市の災害対策に係るご意見について

### ■横浜市の災害対策に係るご意見についてお伺いします。

問 23 災害対策について、横浜市に力を入れて取り組んでほしいことはどれですか。

5つまで選択して番号を○で囲んでください。

1. 緊急時の警報や避難指示などを伝達する体制や仕組みの強化
2. 災害に関する情報提供や広報
3. 応援部隊や支援物資の受け入れ態勢の整備
4. 水・食料・毛布などの十分な備蓄
5. 地域における防災組織の確立
6. 防災訓練などの意識啓発の強化
7. 学校や公共施設の耐震化・安全化
8. 地下街や高層ビルに対する防災指導の強化
9. 一般住宅の耐震診断・耐震改修・防災ベッド等の設置補助
10. がけ崩れや液状化などへの対策
11. 津波・高潮・洪水などによる浸水への対策
12. ハザードマップの作成や使い方に関する啓発
13. 避難方法や避難場所の周知
14. 災害時要援護者（高齢者、障害者など）への支援対策
15. 帰宅困難者への対策
16. 国や近隣自治体、企業などとの協力体制の強化
17. 災害ボランティアの育成や受け入れ態勢の整備
18. 避難場所への道路の整備
19. 医療救護の確保など、災害時の医療体制の強化
20. 電気・ガス・水道・電話通信などのライフライン施設の耐震性の向上
21. 停電や電力不足への対策
22. 放射性物質による汚染への対策
23. 火山噴火による降灰への対策
24. 地震における火災対策
25. 防災・減災に関する研修の拡充
26. 避難所（地域防災拠点）の快適性向上のための資器材購入
27. 地域防災拠点以外への公的避難所整備の仕組みの強化
28. その他（具体的に
29. 特にない

## あなたご自身のことについて

■最後にあなた自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入を  
よろしくお願いいたします。

問 24 あなたのお住まいの区はどちらですか。

1つ選択して番号を○で囲んでください。

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1. 青葉区  | 7. 港南区  | 13. 戸塚区   |
| 2. 旭区   | 8. 港北区  | 14. 中区    |
| 3. 泉区   | 9. 栄区   | 15. 西区    |
| 4. 磯子区  | 10. 瀬谷区 | 16. 保土ヶ谷区 |
| 5. 神奈川区 | 11. 都筑区 | 17. 緑区    |
| 6. 金沢区  | 12. 鶴見区 | 18. 南区    |

問 25 あなたの年齢（年代）はどれですか。

1つ選択して番号を○で囲んでください

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 10 歳代 | 5. 50 歳代   |
| 2. 20 歳代 | 6. 60 歳代   |
| 3. 30 歳代 | 7. 70 歳代以上 |
| 4. 40 歳代 |            |

問 26 あなたの性別はどれですか。

1つ選択して番号を○で囲んでください※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

問 27 あなたは、自治会、町内会に加入していますか。

1つ選択して番号を○で囲んでください

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない | 3. 分からない |
|-----------|------------|----------|

問 28 あなたは、どのような家族形態で暮らしていますか。

1つ選択して番号を○で囲んでください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. ひとり           | 4. 親と子（2世代） |
| 2. 夫婦またはパートナーと二人 | 5. その他      |
| 3. 祖父母と親と子（3世代）  |             |

質問は以上です。お疲れさまでした。ありがとうございました。

別冊

## ◆用語解説◆

問番号	用語	説明
3	新耐震基準	震度6強～7に達する程度の揺れでも倒壊しないような構造基準。 昭和56年6月1日以降に建設された建物はこの基準の適用を受けている。
3-1	耐震診断	新耐震基準以前に建設された建物に対して、新耐震基準を満たしているか否かを確認すること。
	耐震改修	耐震診断の結果、基準を満たしていない場合や耐震性に問題がある建物に対して行う補強工事。
3-2	防災ベッド	木造住宅の耐震改修が難しい場合に、建物が倒壊しても生存空間を確保するため、ベッドにフレーム等を設置するもの。住宅の一部屋(居間や寝室)に設置する「耐震シェルター」もある。
6	通電火災	地震や台風などの自然災害による長時間の停電後、復旧時に出火する電気火災のこと。損傷した配線などに電気が流れ、発熱発火する場合や、転倒したヒーターに可燃物(カーテン、じゅうたん等)が触れている状態で電気が流れ着火する場合などがある。
7	感震ブレーカー	地震の大きな揺れを感知して電気を自動的に遮断し、電気火災を防ぐ器具。
8-1	ローリングストック法	日常的に非常食を食べ、食べたらいきなり買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法。
10	災害時帰宅支援ステーション	徒歩帰宅者支援のための協定を締結したコンビニエンスストアやファミリーレストラン、ガソリンスタンドなどを「災害時帰宅支援ステーション」又は「災害時徒歩帰宅者支援ステーション」と呼び、専用のステッカーを店舗の入口など、利用者の見やすい位置に掲示している。これらの店舗では、トイレ、水道水を利用できるほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供してもらえる。
	一時滞在施設	帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者を一時的に受け入れ、休憩場所のほか、可能な範囲でトイレ、水道水、情報の提供等を実施する施設。

## ◆用語解説◆

問番号	用語	説明
11	<b>地域防災拠点</b>	身近な市立の小・中学校等を災害時の避難所として指定。避難所としての機能に併せ、水・食料の提供や情報の提供等の役割を持つ。 震度5強以上の地震で開設される。
	<b>地域防災拠点の訓練</b>	避難所の開設、避難者の受入れ、区災害対策本部との情報の受伝達など、地域防災拠点における対応を確認する訓練。
	<b>横浜防災ライセンス講習会</b>	地域防災拠点に備えている資機材の取扱い方法を学ぶ講習会。講習会を受講された方に資機材取扱リーダーとしてリーダー証を発行し、名簿に登載している。
	<b>よこはま防災研修</b> (旧：防災・減災推進研修)	地域の防災の担い手を育成し、地域の防災力の向上を図ることを目的とし、町の防災組織（自治会・町内会等）の中で活動している方々などに対し、市が進めようとしている防災・減災に関する講義やグループワーク等を行うもの。基礎編、応用編、支援編がある。
	<b>消防団</b>	消防団とは、普段は本業の仕事を持ちながら、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などを行う消防組織法第九条に定められた市町村の消防機関の一つ。 消防団員は、災害活動のほか、平常時では、訓練や、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動など、地域における消防力・防災力の向上や地域コミュニティの維持・振興において重要な役割を担っている。
<b>家庭防災員研修</b>	自助から始まり地域防災の担い手にもつなげる研修制度として、自治会・町内会から推薦を受けた方を対象に、防火・防災に関して必要な知識及び技術を身に付けていただくことを目的とした研修。	

問5における対象地域一覧表

(青葉区、旭区、港南区、栄区、瀬谷区、都筑区、緑区にお住まいの方は、地域外です。)

密集市街地の対象地域 (「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」より)

<b>泉区</b>	白幡上町	西柴3丁目	下野谷町 1~4丁目	柏葉	妙香寺台	元久保町	白妙町 1、2丁目
白百合 1~3丁目	白幡町	平潟町	下末吉 1、4丁目	北方町 1、2丁目	麦田町 1~4丁目	<b>保土ヶ谷区</b>	高根町1丁目
中田北 2、3丁目	白幡仲町	町屋町	諏訪坂	鷺山	元町 1~5丁目	岩崎町	通町4丁目
中田西 2~4丁目	白幡西町	谷津町	佃野町	諏訪町	矢口台	岡沢町	中里 1~4丁目
中田東 1~4丁目	白幡東町	<b>港北区</b>	鶴見 1、2丁目	滝之上	山下町	霞台	永田北 1~3丁目
中田南 1~5丁目	白幡南町	菊名1丁目	寺谷 1、2丁目	竹之丸	山手町	帷子町 1、2丁目	永田山王台
<b>磯子区</b>	白幡向町	篠原台町	豊岡町	立野	大和町 1、2丁目	鎌谷町	永田東 1、2丁目
磯子 1、2、8丁目	立町	篠原町	仲通1丁目	千代崎町 1~4丁目	山元町 1~4丁目	神戸町	永田南 1、2丁目
岡村 1~7丁目	中丸	篠原西町	馬場 1~7丁目	寺久保	<b>西区</b>	桜ヶ丘 1、2丁目	中村町 1~3丁目
滝頭 1~3丁目	七島町	篠原東 1~3丁目	東寺尾 3、6丁目	仲尾台	赤門町2丁目	月見台	西中町4丁目
中浜町	西大口	新吉田東 5、6丁目	東寺尾北台	西竹之丸	東ヶ丘	初音ヶ丘	八幡町
久木町	西神奈川 2、3丁目	高田東 1、4丁目	東寺尾中台	西之谷町	伊勢町 1~3丁目	星川1丁目	東蒔田町
広地町	二本榎	綱島西5丁目	東寺尾東台	初音町 1~3丁目	老松町	峰岡町 1~3丁目	伏見町
丸山 1、2丁目	白楽	仲手原2丁目	本町通 1~3丁目	英町	霞ヶ丘	宮田町 1~3丁目	平楽
<b>神奈川区</b>	平川町	錦が丘	向井町 1、2丁目	日ノ出町 2丁目	久保町	和田2丁目	別所 2~5丁目
旭ヶ丘	広台太田町	日吉本町 4丁目	<b>戸塚区</b>	本郷町 1~3丁目	御所山町	<b>南区</b>	別所中里台
入江2丁目	松本町 1~5丁目	富士塚 1、2丁目	汲沢 1、3~8 丁目	本牧荒井	境之谷	井土ヶ谷上町	堀ノ内町 1、2丁目
浦島丘	三ツ沢上町	<b>鶴見区</b>	戸塚町	本牧大里町	浅間台	浦舟町1丁目	蒔田町
浦島町	三ツ沢下町	市場上町	<b>中区</b>	本牧三之谷	浅間町 2~5丁目	永楽町1丁目	真金町 1、2丁目
大口通	三ツ沢中町	市場西中町	赤門町1丁目	本牧町 1、2丁目	中央 1、2丁目	榎町 1、2丁目	南太田1丁目
大口仲町	六角橋 1~6丁目	市場東中町	池袋	本牧原	戸部本町	大岡 1~5丁目	三春台
神之木台	<b>金沢区</b>	潮田町 1、2丁目	石川町 1~5丁目	本牧満坂	西戸部町 1~3丁目	庚台	宮元町3丁目
神大寺 1、4丁目	金沢町	小野町	上野町 1~4丁目	本牧緑ヶ丘	西前町 2、3丁目	唐沢	六ツ川 1、2丁目
栗田谷	洲崎町	岸谷 1~4丁目	打越	本牧元町	浜松町	共進町 1~3丁目	睦町 1、2丁目
子安通1丁目	泥亀2丁目	北寺尾 1、2、5~7 丁目	大芝台	豆口台	東久保町	山谷	若宮町 1~4丁目
斎藤分町	寺前 1、2丁目	汐入町1丁目	大平町	藁沢	藤棚町 1、2丁目	清水ヶ丘	